



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 株式会社アルプス技研 上場取引所 東  
コード番号 4641 URL <https://www.alpsgiken.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤  
問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員経営企画部長 (氏名) 菊池 久基 (TEL) 042(774)3333  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	35,954	5.2	3,586	1.2	3,716	3.3	2,362	△6.9
2023年12月期第3四半期	34,186	6.5	3,542	0.8	3,597	3.1	2,537	5.7

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,410百万円(△10.2%) 2023年12月期第3四半期 2,685百万円(10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	118.87	—
2023年12月期第3四半期	126.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	27,200	17,408	63.8
2023年12月期	25,025	16,866	67.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 17,360百万円 2023年12月期 16,822百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	52.00	—	51.00	103.00
2024年12月期	—	44.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	44.00	88.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年12月期第2四半期の配当の内訳 普通配当42円00銭 創業55周年記念配当 10円00銭

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	49,500	7.1	5,200	4.4	5,300	4.9	3,500	△5.3	176.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結の範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1 社 (社名) (株)たんぽぽ四季の森、除外 1 社 (社名) (株)たんぽぽ四季の森  
 (注) 詳細は、添付資料 7 頁「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲の重要な変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 3 Q	21,746,675株	2023年12月期	21,746,675株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	1,870,396株	2023年12月期	1,876,739株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 3 Q	19,874,439株	2023年12月期 3 Q	19,993,022株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想の前提となる条件等については、添付資料 2 頁「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2024年12月期の個別業績予想 (2024年 1 月 1 日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	4.8	5,100	5.6	3,500	△0.7	176.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(連結の範囲の重要な変更) .....	7
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(株主資本等関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(企業結合等関係) .....	11
(収益認識関係) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
3. (参考) .....	14
(1) 2024年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書 .....	14

[独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書]

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、個人消費に足踏みがみられたものの、堅調な企業業績によって緩やかながら回復基調で推移いたしました。一方で、国内外における金融政策の影響、為替変動、また中国経済の先行き懸念や中東情勢の緊迫化などによる海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しする可能性があります。

こうした社会・経済環境のなか、大手製造業各社は、競争優位に向けた研究開発の先行投資を維持しており、当社グループに対する要請は堅調に推移いたしました。当社グループは経営理念「Heart to Heart」のもと、「チームアルプス」というビジョンを掲げ、グループの総力を挙げて新たな事業に挑戦し、企業価値の向上を目指しております。当社グループの中核である技術者派遣事業では、顧客からの要請が堅調に推移したこともあり、高稼働率を維持しました。さらに全社を挙げて、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みを実施しました。以上のような施策の結果、総稼働人数、契約単価はともに上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第3四半期連結累計期間の売上高は359億54百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は35億86百万円(同1.2%増)、経常利益は37億16百万円(同3.3%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は計上された有価証券売却益の剥落等により、23億62百万円(同6.9%減)となりました。なお、当社は次世代に向けた強みを創出すべく、アウトソーシングサービス事業の強化はもとより、農業・介護を始めとする新たな事業分野の開拓と、ものづくり事業の拡大に向けた施策を推進しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣、職業紹介等を行っております。人材獲得競争が激化しているなかにあっても優秀な人材を確保するため、リファラル採用等の施策に注力いたしました。また、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みにより、引き続き稼働率は高水準を維持し契約単価も上昇いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は336億16百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は33億円(同7.2%増)となりました。

#### ② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の設計・製作・据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。一昨年より続いた大型案件が昨年完工したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は22億78百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は3億32百万円(同28.0%減)となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は272億円となり、前連結会計年度末に比べ21億74百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。負債合計は97億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億32百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は174億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億42百万円増加いたしました。

これらの結果、自己資本比率は63.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2024年2月13日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,430,737	12,151,952
受取手形、売掛金及び契約資産	6,547,477	6,533,474
商品及び製品	1,074	—
仕掛品	484,449	399,319
原材料及び貯蔵品	92,967	112,858
その他	706,446	721,918
流動資産合計	19,263,151	19,919,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,366,419	3,889,153
減価償却累計額	△1,877,089	△1,958,661
建物及び構築物(純額)	1,489,329	1,930,491
土地	1,541,637	1,803,637
その他	652,045	692,742
減価償却累計額	△527,192	△553,907
その他(純額)	124,852	138,834
有形固定資産合計	3,155,819	3,872,963
無形固定資産		
のれん	159,111	244,318
その他	124,947	119,269
無形固定資産合計	284,059	363,588
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023,942	1,082,621
関係会社株式	32,218	32,218
繰延税金資産	777,764	1,484,286
その他	488,730	445,158
投資その他の資産合計	2,322,655	3,044,284
固定資産合計	5,762,534	7,280,836
資産合計	25,025,686	27,200,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,993	317,559
短期借入金	224,262	212,032
未払金	1,941,659	1,291,182
未払法人税等	760,350	1,392,190
賞与引当金	1,745,647	3,698,877
役員賞与引当金	31,500	21,485
その他	2,778,929	2,539,746
流動負債合計	7,838,342	9,473,073
固定負債		
長期借入金	21,014	12,876
退職給付に係る負債	160,777	156,566
その他	138,736	148,983
固定負債合計	320,527	318,426
負債合計	8,158,870	9,791,500
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	2,798,742	2,811,011
利益剰余金	13,688,994	14,163,577
自己株式	△2,739,199	△2,725,317
株主資本合計	16,095,701	16,596,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,241	524,814
為替換算調整勘定	246,304	239,000
その他の包括利益累計額合計	726,545	763,815
非支配株主持分	44,568	48,611
純資産合計	16,866,815	17,408,861
負債純資産合計	25,025,686	27,200,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	34,186,961	35,954,979
売上原価	26,253,119	27,654,892
売上総利益	7,933,842	8,300,086
販売費及び一般管理費	4,391,435	4,713,903
営業利益	3,542,406	3,586,182
営業外収益		
受取利息	6,518	4,780
受取配当金	16,137	17,710
助成金収入	12,786	24,391
為替差益	24,014	24,481
その他	85,140	79,650
営業外収益合計	144,597	151,014
営業外費用		
支払利息	833	1,559
株式報酬費用消滅損	9,765	6,193
投資事業組合運用損	6,145	4,283
寄付金	61,531	—
その他	11,366	9,160
営業外費用合計	89,642	21,196
経常利益	3,597,360	3,716,000
特別利益		
固定資産売却益	364	254
投資有価証券売却益	257,611	—
特別利益合計	257,975	254
特別損失		
固定資産除却損	30	2,589
解約違約金	—	※ 15,000
その他	—	300
特別損失合計	30	17,889
税金等調整前四半期純利益	3,855,305	3,698,365
法人税、住民税及び事業税	1,947,260	2,049,790
法人税等調整額	△625,059	△724,771
法人税等合計	1,322,201	1,325,018
四半期純利益	2,533,103	2,373,347
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,807	10,788
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,537,910	2,362,558

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	2,533,103	2,373,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,507	44,573
為替換算調整勘定	76,726	△7,614
その他の包括利益合計	152,234	36,958
四半期包括利益	2,685,338	2,410,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,692,366	2,399,828
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,027	10,477

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、(株)東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及びわが国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、(株)たんぼぼ四季の森を新たに子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、当第3四半期連結会計期間において当社の連結子会社である(株)アルプスケアハートを存続会社、(株)たんぼぼ四季の森を消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、(株)たんぼぼ四季の森を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

## ※ 解約違約金

営業支援システムを中途解約したことに伴う解約違約金であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	158,829千円	153,092千円
のれんの償却額	63,008千円	80,794千円

## (株主資本等関係)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月24日 定時株主総会	普通株式	946,890	47	2022年12月31日	2023年3月27日	利益剰余金

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年8月8日 取締役会	普通株式	1,033,382	52	2023年6月30日	2023年9月15日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2023年5月15日に普通株式281,100株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、前第3四半期連結累計期間において自己株式が751,686千円増加しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年3月26日 定時株主総会	普通株式	1,013,366	51	2023年12月31日	2024年3月27日	利益剰余金

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年8月8日 取締役会	普通株式	874,609	44	2024年6月30日	2024年9月13日	利益剰余金

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,438,895	2,748,066	34,186,961	—	34,186,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38,815	38,815	—	38,815
計	31,438,895	2,786,881	34,225,777	—	34,225,777
セグメント利益	3,079,301	461,214	3,540,516	—	3,540,516

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,540,516
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	1,890
四半期連結損益計算書の営業利益	3,542,406

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,616,751	2,278,161	35,894,913	60,066	35,954,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	36,316	36,316	—	36,316
計	33,616,751	2,314,478	35,931,230	60,066	35,991,296
セグメント利益又は損 失(△)	3,300,671	332,146	3,632,817	△48,733	3,584,084

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス付き高齢者向け住宅事業が含まれております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,632,817
「その他」の区分の損失(△)	△48,733
セグメント間取引消去	2,098
四半期連結損益計算書の営業利益	3,586,182

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、㈱たんぼぼ四季の森の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、㈱たんぼぼ四季の森の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては166,001千円であります。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社は、2024年5月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社である㈱アルプスケアハートを存続会社、当社の連結子会社である㈱たんぼぼ四季の森を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2024年7月1日付で合併を完了しております。

(1) 取引の概要

連結子会社の吸収合併

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

ア. 結合企業(存続会社)

企業の名称：㈱アルプスケアハート

事業の内容：訪問介護事業、その他居宅介護サービス事業

イ. 被結合企業(消滅会社)

企業の名称：㈱たんぼぼ四季の森

事業の内容：サービス付き高齢者向け住宅事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業

② 企業結合の目的

グループ内の介護に関連する事業を㈱アルプスケアハートに集約し、各事業間の連携を強化するとともに、多様な高齢者向けサービスの提供により介護事業の成長を加速させることを目的として、本吸収合併を実施することといたしました。

③ 企業結合日(効力発生日)

2024年7月1日

④ 企業結合の法的形式

㈱アルプスケアハートを存続会社とし、㈱たんぼぼ四季の森を消滅会社とする吸収合併

⑤ 結合後企業の名称

㈱アルプスケアハート

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引としております。

## (収益認識関係)

## 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	計		
派遣	28,332,989	—	28,332,989	—	28,332,989
請負	2,958,327	2,622,618	5,580,945	—	5,580,945
その他(注)	147,578	125,447	273,026	—	273,026
顧客との契約から生じる収益	31,438,895	2,748,066	34,186,961	—	34,186,961
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	31,438,895	2,748,066	34,186,961	—	34,186,961

(注) 「その他」の区分は、物品販売事業、訪問介護事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	計		
派遣	29,802,866	—	29,802,866	—	29,802,866
請負	3,534,993	2,094,639	5,629,633	—	5,629,633
その他(注)2	278,891	183,521	462,413	22,331	484,744
顧客との契約から生じる収益	33,616,751	2,278,161	35,894,913	22,331	35,917,245
その他の収益(注)3	—	—	—	37,734	37,734
外部顧客への売上高	33,616,751	2,278,161	35,894,913	60,066	35,954,979

(注) 1 報告セグメント以外の「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス付き高齢者向け住宅事業であります。

(注) 2 「その他」の区分は、物品販売事業、訪問介護事業等を含んでおります。

(注) 3 「その他の収益」は、不動産賃貸収入であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分を変更しております。詳細は、「注記事項(セグメント情報等)セグメント情報 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり四半期純利益	126円94銭	118円87銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,537,910	2,362,558
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	2,537,910	2,362,558
普通株式の期中平均株式数(株)	19,993,022	19,874,439

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 3. (参考)

## (1) 2024年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科目	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	26,710,618	28,429,306
II 売上原価	20,089,688	21,466,131
売上総利益	6,620,930	6,963,174
III 販売費及び一般管理費	3,376,174	3,614,318
営業利益	3,244,755	3,348,856
IV 営業外収益	459,543	448,251
V 営業外費用	137,123	323,464
経常利益	3,567,176	3,473,643
VI 特別利益	288,116	254
VII 特別損失	30	17,706
税引前四半期純利益	3,855,261	3,456,191
法人税、住民税及び事業税	1,741,916	1,784,604
法人税等調整額	△550,402	△662,305
四半期純利益	2,663,747	2,333,893

- (注) 1. 四半期損益計算書は、公認会計士又は監査法人によるレビュー対象外です。  
2. 四半期損益計算書は、「財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。

# 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月12日

株式会社アルプス技研  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水野 博嗣

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 越後 大志

## 監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社アルプス技研の2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して、株式会社アルプス技研及び連結子会社の2024年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

## 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。